

佐久市佐久つと支援金事業 自己評価報告書

		評 価 日	年 月 日
団 体 名	佐久地域“舞台芸術の日”運営委員会		
事 業 名	つくろう!“舞台芸術の日”」こども実行委員会事業		
事業経費③	2,353,694 円	支援金額⑨	283,000 円

事業の目的・内容	地域の課題 昨今佐久地域には移住者が増加している。私たち運営スタッフはほとんどが移住者である。都心から自然を求め、受けたい教育を求めてきた移住者にとって佐久地域は住みやすい。求めてきたものを得られ、住み心地もいい。ただ一方で都心に比べて文化芸術の多様性、それに触れる機会は圧倒的に少ない。住みやすさを感じつつもまだ仮の住まいと考える移住者も多いのが現状だろう。常を感じるわけではないが、ちょっとした不便さや物足りなさが、いつかは都心に戻るといった考えを拭いきれない一因と考える。 佐久地域でも立派な公共劇場を有し芸術の鑑賞機会はあるが、松本市や長野市、上田市のサントミュージゼに比べ、演目は少ない。子どもにとって身近なものとしてキッズサーキットの公演があり、毎年チケットが即完売になるほど好評を博している。しかし子ども向けの小さい作品が多く、作品の傾向がかたまってきている印象を受ける。芸術鑑賞は、生活の中に非日常の楽しみや豊かさをもたらすばかりでなく、未知の世界、他人の創り出す自分にはない世界観に触れる機会となる。それを自分がどう感じるのかを自覚することで、自分を見つめる良い機会ともなる。
	事業内容 【1公演・ワークショップ開催】 カンパニーデラシネラによる公演・ワークショップ実施した。 ○日時：2024年10月26日（土曜日）14:00～16:00 ワークショップ 10月27日（日曜日）17:00～18:00 公演『はだかの王様』 ○場所：佐久平交流センター 【2子ども実行委員会を組織する】 公演・ワークショップを企画運営するこどもスタッフを募集して、月に一回実行委員会を開き活動した。

	【1公演・ワークショップ開催】 佐久市教育委員会・佐久穂町教育委員会・御代田町教育委員会・小諸市教育委員会・軽井沢町教育委員会に後援をいただき、佐久市全小学校・佐久穂町・御代田町・小諸市小学校にチラシ・ポスター配布した。 商店・公共施設等にチラシ・ポスター配架を行った。 佐久ケーブルテレビ、FMさくだいら、FM軽井沢において出演・告知、フリーマガジンママモに宣伝を掲載した。 パントマイムによる創作劇が国内外での評価を得ているカンパニーデラシネラを招聘し、子どもたちのための身体表現ワークショップ、舞台公演を実施。いずれも18歳以下が無料で参加できるものとした。
--	---

・10月26日 ワークショップ「マイムや身体表現を体験！！」（会場：イオンモール佐久平イベントホール）

・10月27日 舞台公演「はだかの王様」（佐久平交流センター）

○来場者数：ワークショップ18人参加

公演300人来場（去年の2倍）

【2子ども実行委員会を組織する】

佐久市全小学校・佐久穂町・御代田町・小諸市・軽井沢町の小学校に募集チラシ配布し、メンバーを募り新たに6名応募があり、7小学校13名のメンバーとなった。

○スケジュール（8月1月の実行委員会のみ生涯学習センター、他はコスモホールで実施）

5月募集チラシ配布・募集開始

6月実行委員決定 第一回子ども実行委員会（チームづくり・公演タイトル決め）

7月第二回実行委員会（チラシデザイン打ち合わせ・レセプションニスト研修）

8月第三回実行委員会（チラシ配布準備）

※8月19日 14:00～16:00 子ども実行委員会向けにデラシネラさんの世界観に触れるワークショップを開催した。まず自分たちが体験して、公演前日のワークショップの内容をアーティスト共に考えた。また、自分たちでワークショップの様子を撮影し、公演の宣伝動画を作成した。

9月第四回実行委員会（宣伝告知活動準備・ワークショップ内容検討）

第五回実行委員会（公演当日の掲示物作成）

10月第六回実行委員会（当日のシュミレーション確認・練習）

11月第七回実行委員会（公演振り返り・アンケート集計）

12月第八回実行委員会（公演記録作成）

1月第九回実行委員会（たくさんの仲間を集めるには）

2月第十回実行委員会（実行委員会活動まとめ・振り返り）



別記様式第5号（6の2関係）〔2枚目〕

事業の成果・効果	○本事業にかかる佐久平交流センター・佐久市コスモホールののべ来場者数 540人（前年度比150%） ○公演後の来場者アンケート また来年もこのような公演をやってほしい…9.5割（前年度比100%） スタッフの対応に満足した…9.7割 ○こども実行委員会へのアンケート またこども実行委員会をやりたい…4割（前年度比80%） 公演企画への理解が深まった…8.5割以上（前年度比140%） ○招聘アーティストから見たこども実行委員会の成長 8月にこども実行委員会に向けたワークショップを開催した。その後ワークショップでやったことを振り返って一般向けのワークショップでやる内容をアーティストと一緒に検討した。一般向けのワークショップでは、こども実行委員会のメンバーたちがお手本となったり、一般の子どもたちを誘導したりこども実行委員会の成長が見られた。自分達が主催者側として来場者に対応する心構えが生まれた。それは翌日の本公演での対応にも表れ、招聘アーティストにも子どもたちの成長が素晴らしかったと感想をいただいた。
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	①できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 13名のこどもスタッフと共に、宣伝告知活動もラジオ・テレビ等で重ね、公演にはたくさんの来場者に満足いただいた。
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	①できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 公演の来場者アンケートは、満足度が非常に高く、こどもスタッフの働きにも高評価いただいた。来年度への継続も期待していただき、事業の定着化が見られる。
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ②多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ） 公演の会場設備で足りない部分があり、アーティスト側に用意していただくのに輸送費がかかった。予算に計上できていなかった記録のための撮影費がかかった。
	その他、評価すべき点等	上記のように、昨年度に比べ、こどもスタッフの成長が顕著だった。先にアーティストのワークショップを経験できたことで公演がより自分ごとになった。ワークショップの内容についてこどもスタッフに内容を任せたりアーティストと相談する機会を作ったことで自分たちが運営しているという自覚ができた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	舞台芸術の日を定着させ、他文化事業への波及効果を狙う。他地域への拡大とともに自走できる団体にしていく。2年目までの取組の集大成として拡大・自立を図る。 1 こども実行委員会のメンバー増員・継続 2 さらなる公演内容の向上 開催規模の拡大とワークショップ参加者が公演でステージに立って（一部）一緒にアーティストと参加できる部分を作る。 3 上田の文化団体との連携事業とし、他地域の賛同者も増やしていく
---------	--

実施画像

6/2実行委員会①



7/7実行委員会②



8/4実行委員会③



8/18こどもスタッフWS



9/8実行委員会④



10/6実行委員会⑤



10/20実行委員会⑥



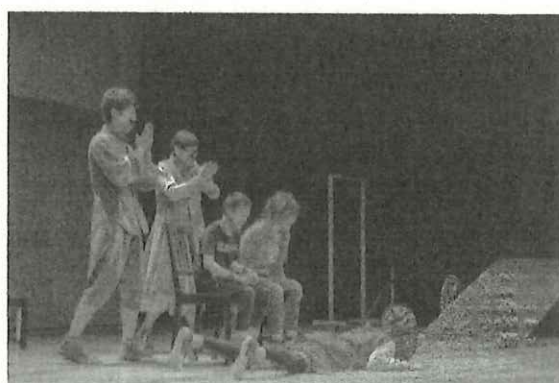
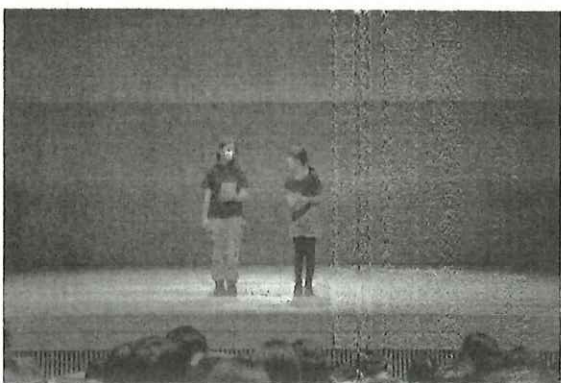
11/24実行委員会⑦



10/26出演者ワークショップ



10/27公演



開演前挨拶

公演中



会場前打ち合わせ

終演後デラシネラの皆さんと子どもスタッフ



公演中の客席の様子

“舞

台

芸

術

の

日”

を

つ

く

ろ

う

年に一度のお楽しみ

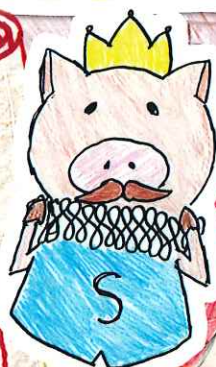
第2期

ぶたばい こどもスタッフになろう!



今年の公演は演げき
「はだかの王様」
ワークショップ 10/26(土)
本番 10/27(日)

くわしくは、ウラを見てね!



たとえばこんなことをやるよ

- 公演のケグシを作る
- ケグシをお店やしせつに酉こる
- ケグシや動画でせん伝
- 公演の日の受付、
会場案内、マイウンスなど



ぶたばいこどもスタッフとは?

年に一度の“舞台芸術の日”を
成功させるために、
公演の企画から当日の仕事まで、
ぶたばいこどもスタッフを中心にやるよ。



スタッフ会議

毎月1回 9:00~11:00

くわしくは、ウラを見てね!

去年活動したスタッフより

- ・みんなで協力して
舞台を作り上げられるよ
- ・ちがう学校の子とも友だちになれるよ
- ・舞台をみる、作る、どちらもできるよ!

このチラシもこどもスタッフが書きました

2024年
10月26日・27日

佐久地域
"舞台芸術の日"

カンパニーデラシネラによる古典名作シリーズ

『はだかの王様』

今年はパントマイムの技法を取り入れた体での表現を得意とする

「カンパニーデラシネラ」をお呼びします。

昨年の文楽公演は人形劇でしたが、

今年は人間の体の新たな可能性を感じてほしいと思っています。

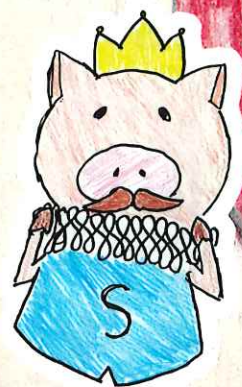
演目はみなさんのよく知るアンデルセンの『はだかの王様』。

そう、賢い人にしか見えない衣装を着て、(パンツ一枚で！)

パレードに出るあの王様のお話です。このお話がセリフなしで上演されます。

この公演は子どもにもわかりやすい本格的な舞台作品として作られました。

たくさん子どもたちに新しい舞台芸術として体験してほしいです！



「はだかの王様」提供=高知県立美術館／撮影=釣井泰輔

募集内容

対象	小学校4年生～中学校3年生
費用	無料
定員	8名（応募多数の場合、全日程参加できる方が優先になります。）

活動日程の詳細とお申し込みはこちら



メールでの
お申し込み

- ①本人氏名 ②保護者氏名 ③メールアドレス
④TEL ⑤学年 ⑥学校名 ⑦全日程参加できるか
⑧やりたいと思った理由(自由記入)

①～⑧を saku.butagei@gmail.com までお送りください。

お問合せ

saku.butagei@gmail.com

090-4724-1031

(佐久地域「舞台芸術の日」
運営委員会・大村)

佐久地域 "舞台芸術の日" とは

年に1度、いつもはなかなか観られない

舞台芸術を、佐久地域の子どもたちが楽しめる日です。

舞台という非日常の世界は、生活を豊かにするばかりでなく、
自分になかった世界観に触れることで自分を見つめる機会
にもなります。

また「ぶたげいこどもスタッフ」を組織して、子どもたちと共
にから舞台芸術の日を企画運営しています！劇場は文化
を創る場。未来の佐久地域の文化の担い手を育てます。

詳しくはHPをご覧ください

<http://butagei.hp.peraichi.com/>



この事業は『令和6年度長野県地域発元気づくり支援金活用事業』『令和6年度佐久市佐久っと支援金活用事業』です。

後援/佐久市、佐久市教育委員会、佐久穂町、佐久穂町教育委員会



カンパニーデラシネラ



演出・出演/小野寺修二

出演/三浦真由、丹野武蔵
藤田桃子、浅井浩介

セリフもない!
服もない!?
だけど何かが見えてくる!!

はだかの王様

2024
10/27 日

17:00開演 16:30開場
上演時間/1時間程度

会場 佐久平交流センター
長野県佐久市佐久平駅南4-1

入場料 **子ども無料** (18歳以下)
大人 1,500円(税込)

全席自由 要事前予約 定員 400名

3歳以下で膝上鑑賞される場合は子ども分の申込み不要。
(お席をご利用の場合は申し込みください。)

10/26(土) 午後
「マイムや身体表現
を体験!!」

詳しくは
こちらから



無料

氏海客によるワークショップ

お申込み

ご予約、ワークショップのお申込みはこちらから

予約受付 9月7日(土) 10:00~



主催/佐久地域「舞台芸術の日」運営委員会+ぶたげいこどもスタッフ

協賛/櫻山工業株式会社、道の駅八千穂高原 指定管理者畑八開発株式会社、potta、子育て世代を応援するフリーマガジンmamamo「ママモ」

後援/佐久市、佐久市教育委員会、佐久穂町、佐久穂町教育委員会、軽井沢町教育委員会、御代田町教育委員会、小諸市教育委員会、佐久ケーブルテレビ株式会社、株式会社エフエム佐久平

この事業は

・令和6年度長野県地域発元気づくり支援金活用事業 ・令和6年度佐久市佐久と支援金活用事業 です。

お問い合わせ

略して
「ぶたげい」

佐久地域「舞台芸術の日」ホームページ
<http://butagei.hp.peraichi.com/>



saku.butagei@gmail.com
090-4724-1031(大村)



ごあいさつ

私たちはぶたげいこどもスタッフです！
年に1度の佐久地域“舞台芸術の日”を成功させるために月に一回実行委員会を開催しています。公演の企画から運営までぶたげいこどもスタッフが中心となって活動しています。このチラシも内容やデザインからイラストまで私たちが考えました。たくさんのお客さんと共にデラシネラさんの新しい世界観を体験したいです！



はだかの王様について (あらすじ・見どころ)

ある町に、おしゃれが大好きで、いつも「この世界で誰も着たことがない服を着たい」と考えている王様がありました。ある日、そんな王様の元に2人の仕立て屋がやってきて……。

そんな、みんなが知っているお話を、デラシネラさんが言葉を使わずに演じてくれます。
表情や身体、いろいろな道具を使って、服を作るシーンや王様のパレードのシーンはどんなふうに表現されるのでしょうか!?



カンパニーデラシネラ

2008年、小野寺修二セルフユニットとして設立。身体性に富んだ演劇作品を創作し、マイムをベースとした独自の演出は、世代を越えた注目を集めている。国内での活動のほか、海外公演など多数。また小中学校巡回公演や高校の芸術鑑賞会など、次世代へのアプローチにも積極的に取り組んでいる。野外や美術館、アートフェスティバルなど、劇場内にとどまらない場所でのパフォーマンスも多い。近年の作品に、『ふしぎの国のアリス』(2022年新国立劇場他)、東京芸術祭2022野外劇『嵐が丘』など。



「はだかの王様」提供=高知県立美術館/撮影=釣井泰輔

演出・出演/小野寺修二
出演/三浦真由、丹野武威、藤田桃子、浅井浩介
美術/杉山至、石黒猛
照明/阿部康子
音響/池田野歩
衣裳/堂本教子
舞台監督/橋本加奈子

デラシネラの『はだかの王様』は、台詞を一切使いません。その代わり、いろいろな身体の動きや不思議な道具が出てきます。普段身の回りにある日用品も、思いもよらないものに見えてくるかもしれません。原作は遠い昔の外国を舞台にしたお話ですが、皆さんの目で、様々なことを想像しながら、自由に観ていただきたいです。デラシネラの『はだかの王様』、どうぞお楽しみに！

小野寺修二



撮影：鈴木俊蔵

佐久地域“舞台芸術の日”運営委員会とは

私たちは、普段はなかなか見られない舞台芸術を年に一度子どもたちが無料で楽しめる機会を提供するために活動しています！昨年の文楽公演に続き、今年はマイム表現を取り入れた身体表現を使った演劇という新しい世界をお届けします。

私たちの活動の中核を成しているのは「ぶたげいこどもスタッフ」です。子どもたちと共に一から舞台芸術の日を企画運営しています！公演は華やかな舞台ばかりでなく、それを支える様々な事柄から成り立っています。一つの事業を成し遂げるために何が必要なのか子どもたちと考えながら共に創り上げています。



お問合わせ

佐久地域“舞台芸術の日”運営委員会
✉ saku.butagei@gmail.com ☎ 090-4724-1031(大村)

未来の佐久地域の文化の担い手を育てるために 寄付のお願い

本物の芸術を見せてくださるアーティストを招聘したり、日々の活動を継続していくために、皆様のご協力をお願いします。
法人・団体の方はメールアドレス (saku.butagei@gmail.com) までご連絡ください。個人の方は本公演チケット申込みサイトより寄付を受け付けております。



日々の活動の様子はFacebookとInstagramでご紹介しています。ぜひご覧ください。



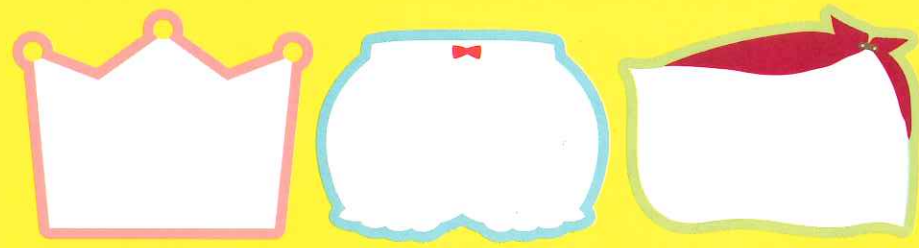
ぶたげいクイズ

- 1 パントマイムの語源となった言葉は何語でしょう?
 A. トルコ語 domuzcuk
 B. オランダ語 varkentje
 C. ギリシャ語 Youpouvoiki
- 2 パントマイムはどこで始まったでしょう?
 A. 古代ギリシャ
 B. ロシア
 C. 日本
- 3 「カンパニーデラシネラという名前の由来「デラシネ」は、
 A. 根なし草
 B. 目なし草
 C. 口なし草

答えは終演後にロビーでお知らせします。

挑戦してね!

受付やロビーに置いてあるスタンプを押してね!



「パンと...なに?」



セリフもない!
服もない!?!
だけど何かが見えてくる!

はだかの王様

カンパニーデラシネラ

演出・出演 / 小野寺修二
 出演 / 三浦真由、丹野武蔵、藤田桃子、浅井浩介

2024 10/27日

17:00開演 16:30開場
 上演時間 / 1時間程度

会場 佐久平交流センター

マナーを守って
楽しもう!



舞台鑑賞のマナー

- ・携帯など音のなるものは電源オフかマナーモードに
- ・おどろいたときの歓声や拍手はいいけど、関係のないおしゃべりはやめよう
- ・終わったら大きな拍手!

協賛

potta



道の駅
八千穂高原

Kashiyama
Vacuum Solutions

mamamo

森清光



Hana Goyomi



(有) 新津技建
www.niitugiken.net



C-OILING



夢科ケーブルビジョン

まっぴち
まっぴちデザイン



Rotary
夢科ロータリークラブ

税理士法人両澤

フルーツおばさんのcafé
(花水木)

山澤雄一

カメラマンこのみん

村山美野里

TUMMY
BAKERY

敬称略

主催 / 佐久地域「舞台芸術の日」運営委員会+ぶたげいこどもスタッフ
 後援 / 佐久市、佐久市教育委員会、佐久穂町、佐久穂町教育委員会、軽井沢町教育委員会、御代田町教育委員会、小諸市教育委員会、佐久ケーブルテレビ株式会社、株式会社エフエム佐久平
 協力 / イオンモール佐久平

この事業は
・令和6年度長野県地域発元気づくり支援金活用事業
・令和6年度佐久市佐久つと支援金活用事業
です。

ごあいさつ

本日はご来場いただき誠にありがとうございます。多くの方のご支援・ご協力のもと、昨年に続き2回目の佐久地域“舞台芸術の日”を開催できますことを心より感謝申し上げます。

今年は『はだかの王様』という誰もが知るお話を、カンパニーデラシネラの皆さんが独自の演出で表現してくださいます。それをするだけたくさんの子どもたちに楽しんでもらいたいと、ぶたげいこどもスタッフ一丸となって準備して参りました。

まちを楽しくしていけるよう、これからも子どもたちの挑戦と活躍の場を創っていけたらと願っております。

スタッフ紹介 (五十音順)

佐久地域“舞台芸術の日”運営委員
青木 雅樹、内村 智子、梅田 有美、大村 麻弥
高山 慶子、橋本 明香、やつづか えり

こどもスタッフ

内村 七海(小5)、遠藤 夏帆(小6)、大村 陽和(小6)
熊本 葵(小4)、倉根 菜都(小5)、佐藤 真穂(小6)
関口 麻央(小4)、高橋 七海(小5)、中澤 希望(小6)
平島 萌衣(小6)、別府 瑚菜(小5)、松本 あかり(小4)
八塚 多音(小5)

日々の活動の様子はFacebookとInstagramでご紹介しています。ぜひご覧ください。



今回の公演を一緒に作りあげる

ぶたげいこどもスタッフ 募集!

来年もたくさんのお客さんに楽しんでもらえるように、スタッフのみんなで話し合いながら準備をしていきます。
2024年12月から、月に1度(予定)週末に集まって活動します。興味をもった人は申し込みフォームからご連絡ください。

対象年齢：小学4年生～

1次締切：11月15日(金)

申し込みフォーム

応募はこちらから



ぶたげいこどもスタッフって?

今日の公演は「ぶたげいこどもスタッフ」のみなで運営しています。

ラジオに出演して宣伝したよ!

自分の絵がパンフレットに!

新しい友だちができるかも

普段会えない人に会える!



寄付のお願い

本日、受付に募金箱を設置しております。

本物の芸術を見せてくださるアーティストの招聘や、日々の活動の継続のために、皆様のご協力をお願いします。

2025年の公演に向けてご協賛いただける法人・団体の方は

メールアドレス saku.butagei@gmail.com までご連絡ください。



『はだかの王様』について

1873年デンマークの童話作家、アンデルセンの作品です。

ある町に、おしゃれが大好きで、いつも「この世界で誰も着たことがない服を着たい」と考えている王様がいました。ある日、そんな王様の元に2人の仕立て屋がやってきて……。

そんな、みんなが知っているお話を、デラシネラさんが言葉を使わずに演じてくれます。表情や身体、いろいろな道具を使って、服を作るシーンや王様のパレードのシーンはどんなふうに表示されるのでしょうか!?

登場人物

- 王様 —— 国中で一番偉く、意見する人が周りにいない、自分勝手な権力者。
- 仕立て屋達 —— よそからやって来た、何でも作り出すことができる二人組。
- 大臣 —— 王様に仕える家来。
- 便りを待つ女 —— 良い知らせを待っている人。



「はだかの王様」提供
= 高知県立美術館 / 撮影 = 釣井泰輔

デラシネラの『はだかの王様』は、台詞を一切使いません。その代わり、いろいろな身体の動きや不思議な道具が出てきます。普段身の回りにある日用品も、思いもよらないものに見えてくるかもしれません。原作は遠い昔の外国を舞台にしたお話ですが、皆さんの目で、様々なことを想像しながら、自由に観ていただきたいです。デラシネラの『はだかの王様』、どうぞお楽しみに!

撮影：鈴木雅蔵

小野寺修二

演出・出演/小野寺修二 出演/三浦真由、丹野武蔵、藤田桃子、浅井浩介

美術/杉山至、石黒猛 照明/阿部康子 音響/池田野歩 衣裳/堂本教子、藤田友 舞台監督/川口真人

カンパニーデラシネラ

2008年、小野寺修二セルフユニットとして設立。身体性に富んだ演劇作品を創作し、マイムをベースとした独自の演出は、世代を越えた注目を集めている。国内での活動のほか、海外公演など多数。また、小中学校巡回公演や高校の芸術鑑賞会など、次世代へのアプローチにも積極的に取り組んでいる。野外や美術館、アートフェスティバルなど、劇場内にとどまらない場所でのパフォーマンスも多い。近年の作品に、『ふしぎの国のアリス』(2022年新国立劇場他)、東京芸術祭2022野外劇『嵐が丘』など。



次のページを見てみよう!